

平成30年度避難訓練（総合防災訓練）実施要項

呉市立片山中学校

1 目的

火災や地震などの災害が発生した際、避難が迅速かつ安全に行われるよう生徒の避難および教職員の適切な避難誘導を訓練する。また、生徒は、地域の一員として避難してきた地域の方や幼児・小学生などの救援活動ができるよう訓練する。訓練全体を通して防災に対する関心を高める。

2 日時

平成30年11月30日（金）2校時（9時55分放送）訓練開始

3 災害の種類 地震

4 震源地・規模 安芸灘を震源とするマグニチュード7.5 呉市内「震度6」

5 避難場所 ハンドボールコート東側（朝礼隊形）

6 役割分担

平成30年度消防防災計画の自営消防組織編成表により、次のような略式のもので行う。

隊長	播磨 校長	防護安全	各火元責任者
全体指揮・計時	奥村	避難誘導	授業者（学活）
緊急放送（校内）	平田	救護	渡邊

7 訓練内容……《担任は、学活で次のことを指導してください。》

- 避難放送を最後までよく聞く。（放送の指示に従う）
- 放送終了後、指示する避難経路で避難する。
- 上履きのまま避難する。
- 廊下や階段では押し合うことなく無言で迅速に行動し、校舎を出たら駆け足で集合場所（男子部室前）に、朝礼隊形で整列する。
- 整列したら代議員は点呼をとり、担任に報告してクラスごとに腰を下ろさせる。

8 訓練の流れ

- (1) 9:50 各クラスで、避難経路・注意事項指示
- (2) 9:55 校内放送（平田）
- ◆『地震発生』『地震発生』
 - ◆『生徒は直ちに机の下に隠れてください。』
 - ◆『先生の指示で、ただちに避難してください。』
- ※放送終了後、教員が、生徒に避難経路を指示し、避難誘導。
- ※男子部室前に朝礼隊形で集合
- ◆点呼を行う。 代議員→担任→学年主任→校長
- ※点呼の仕方「〇年〇組 男子〇名、女子〇名、全員います」
(代議委員は、担任に報告後、クラスごとに腰を下ろさせる。)
- ◆計時は、クラス別に放送終了後より点呼が完了し学年主任が校長に報告するまでの時間を計る。(避難目標タイム：3分00秒)
- (3) 10:10 開会あいさつ（播磨校長）
- (4) 10:15 各種訓練

ア 初期消火訓練	—上級生が主体となり小学校低学年児童・園児とともに、水消火器を使用し初期消火訓練を実施する。(グラウンド)
イ 煙中訓練	—煙の中での避難行動についてVTR等で確認した後、煙中での避難体験を実施する。(第1理科室)
ウ 避難所運営	—消防署・危機管理室の職員の指導の下、HUG(避難所運営ゲーム)を使つての訓練を実施する。(各HR教室)
エ 給水訓練	—上下水道局の給水車がどのように災害時に活用されるのかを説明を受け、実際に給水活動を体験する。(グラウンド)
オ 衛星電話体験	—NTT西日本の協力で、衛星電話の仕組みについて説明を受けた後、実際に衛星電話での通話を体験する。(グラウンド)

- (5) 11:30 展示訓練（呉市消防局）
- ◆呉市消防局による訓練展示（天ぷら油火災の消火）を見学する
- (6) 12:20 閉会あいさつ（大塚校長）